

私の六方拝

—「嗚呼 満蒙開拓団」自主上映会に参加して思う—

高尾 源峰

1. 老人になる程、修業しなければならぬと教えられた。私の実践は写経を中心に行っている。まず朝、早く起き、2時半を起床時刻に定めている。寒中でも冷水摩擦はかかさぬ。清めた後、六方拝をし、座禅（20分）、読経（10分）ラジオ深夜便の心の時代をきく。そして写経——今日まで200巻（1巻約8000字）大般若経を書いた。【自らも書き、まわりの人々にも写経をすすめている。法華経8巻、開経、結経、阿弥陀経、涅槃経、父母恩重経、短い経の手本をかいて、力にかなった人にわけている】

1日に朝書くのは、約1000字程度で、ゆっくりとした写経である。

2. 六方拝について 六方拝はインドの人々の行である。お経のかたちで中国を経て我が国に伝わった。文章にすると長くなるが、5分間ぐらいのものである。
 - (1) 親を拝む。無限のいのちに礼をいう。——東方を向いて——
 - (2) 仏法・仏道の師にお礼をいう。2,500年さかのぼってお礼をいう。——南方を向いて——
 - (3) 配偶者や子供、孫にお礼をいって拝む。——西方を向いて——
 - (4) 広く世間の人々にお礼をいう。——北方を向いて——
 - (5) 低賃金で働かされる人々にお礼をいう。インドの不可触民等^{ふかしょくみん}にまで礼をいう。
(下の方角に向く。東にもどる)
 - (6) 天上の諸仏、諸菩薩、諸天、善神^{しよてん ぜんじん}、天神、地祇^{てんしん}に、加護^{ちぎ}をお祈りする。
(天に向かって行く)
—わが子や孫を拝むことはおもしろいし、下層社会の人にも念^{おもい}をこめて、お礼をいうこともしたいものである。
3. さらに四方の方々にお礼をいう、六方拝のときのように、東、西、南、北に向きをかえてお礼をいう。
 - (1) 東方、仏縁のあった人10人ばかりに感謝のお礼をする。
(次が大切——)
 - (2) 南方——太平洋戦争で戦死した日本人等の冥福を折る。帰りたいことであろうに。ニューギニアに14万の日本軍が飢えて全滅した。フィリピンには45万の日本

の大軍が敵と戦い、病気で倒れ、苦むしたままである。マリアナ沖海戦、レイテ沖海戦等で日本の艦船が撃沈された。多数の将兵は水漬^{みず}く屍となっている。

内地では昭和20年3月10日の東京大空襲で10万人が亡くなっている。

5月の大阪、7月の名古屋、その間に各都市の空襲に大勢の人が亡くなっている。特に広島空爆で14万人が一瞬にして亡くなった。冥福を祈る。

- (3) 西方——日中戦争で大きな迷惑をかけた。日本軍の犠牲者も多い。中国の非戦闘員の被害は想像を超えたものがある。

いのちを失ったもの、ひどい目に合わされたもの、ものや食料をとられたもの、家を焼かれたもの等、気の毒な限りである。お詫びの気持を合掌し頭を下げることで表す。こういうことですむことではないが、私にはあらわしようがない。マレー半島の華僑の犠牲者も多かった。中国の人は“恨みに報いるに徳を以てす”と賠償を取らなかった。偉大な指導者、蒋介石総統や後の周恩来首相にお礼を言わずにおられない。

次いで海に沈んだ輸送船も多い。その犠牲者を拜む。沖縄地上戦では30万人の犠牲者があった。さらにさらに長崎原爆犠牲者7万人の冥福を祈る。永井隆博士の名も唱^{とな}え称^{たた}える。

- (4) 最後は北方——シベリヤ抑留でいのちをおとした人公称6万人だが、もっと多いことだろう。私の従兄弟も満鉄からシベリヤに引っぱられ亡くなった。

次に満蒙開拓義勇軍や家族の人々犠牲者はわからないが10万人もあるだろうか？ 皆悲惨である。

朝鮮半島の人々には、きびしい労働等に、ひどい目にあわせている。申し訳ないという強いお詫びの気持を捧げる。

以上長い文になったが、お詫びし切れない一面がある。毎朝^{おもい}念^{おもい}を込めて祈る。また、夜、寝床に入ってから足を伸ばし、手を伸ばし、そして“お父さん、おやすみなさい、お母さんおやすみなさい”とつぶやき、朝の六方拝をくり返し、念じつつぐっすり眠りにつく。

友達と語るときはこの”お父さんおやすみなさい”をいうと安眠できるように思える、と告げることにしている。

(たかお・げんぼう：1926年生まれ。僧籍二等教師、小中教員、社会教育主事、島根いのちの電話相談員、刑務所特志面接委員を経て現在に至る。松江写経の会代表。旧松江63連隊慰霊塔彼岸法要奉仕。日赤島根県支部所属みずうみ赤十字奉仕団顧問)